

学力向上だより

紫雲寺小学校

NRTの結果報告 (数値は、偏差値平均です。全国平均を50とします)

	2年	3年	4年	5年	6年
国語	49.2	52.9	52.3	54.1	52.4
算数	51.7	51.9	56.7	50.4	52.9

NRTの結果をもとに分析を行い、各教科とも領域ごとに特に落ち込んでいるところを把握しました。国語では「書くこと」と「読むこと」、算数では「量と測定」「数量関係」の領域の通過率がやや低く、記述式の問題、作図や計量に関する問題、論理的な説明を要する応用問題に落ち込みが見られました。日常の授業での個別指導に力を入れる必要があるとともに、家庭学習の一層の習慣化、既習事項の定着と文章・応用問題への慣れを図っていきたいと思います。

全国学力・学習状況調査の結果から

全国学力・学習状況調査の結果が出ました。この調査は全国の6年生を対象に実施されました。国語・算数の2教科で、主として知識を問うA問題と、主として活用を問うB問題があります。国語ではA問題・B問題とも全国平均並みでした。算数では、A問題の平均正答率は全国並みでしたが、B問題では全国平均より下回りました。今後は表現力や思考力を一層鍛える指導を行っていきたいと思います。

家庭学習強調週間へのご協力、ありがとうございました。

9月22日(月)～28日(日)の7日間、第2回目の家庭学習強調週間が行われ、下記のような結果でした。

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
目標時間(1週間の平均)		10分	20分	30分	40分	50分	60分
者の目標達成割合	1回目	92%	74%	74%	73%	63%	63%
	2回目	92%	81%	83%	85%	67%	84%

1学期に比べ目標達成者の割合がどの学年も増えました。保護者の皆さまからは、「声かけ・環境づくり」の支援をしていただきました。ありがとうございました。目標時間に達しないお子さんについては、今後も家庭学習の仕方等について個別に支援をしていきます。

6年算数「変わり方を調べて」

1 授業の様子 【10月1日（水）】

<めあて>

- 変化の様子を表に書き、変化の規則性を発見して問題を解くことができる。
- ふり返りの場面で、学習を通して分かったことやまとめを書くことができる。

<問題>

かなたさんが家を出てから14分たったとき、お兄さんが自転車であとを追いかけてきました。かなたさんの速さは分速60m、お兄さんの速さは分速200mです。

お兄さんは、何分後にかなたさんに追いつきますか。

最初、子どもたちは変化の様子を表に書きました。それをもとにきまりを見つけ学習を進めていきました。表を作成しながら解決の見通しをもち、自力解決を行うことができました。次に、ペアと全体でお互いの考えを共有し合いました。最後に、「ふり返し」を書きました。子どもたちは、感想で終わることがないように、この学習で大切な言葉「キーワード」を用いて書いていました。



【子どもたちの自力解決例】

はじめに2人の距離が何mずつ縮まるか調べます。引き算をすると2人の間の距離が出ます。距離が0になった時が答えです。

答え 6分後

はじめに表を見ながらきまりを見つけます。次に、1分あたり140mずつ差が縮まっているのが分かります。だから、式にすると

$840 \div 140 = 6$ です。

答え 6分後

【子どもたちが書いたふり返し例】

- ・変わり方のきまりを見つけるには、表を書くのと分かりやすいと思った。表で0になったら追いついたことになります。
- ・表を書くのと2人の1分あたりの差が出るので、計算してきまりを見つけることができました。
- ・変わり方のきまりを見つけるには、表や単位量を使うことが分かった。

2 考察

- 「ふり返し」は、キーワードを使いながら、この授業から何が分かったのか、どの子もしっかり書くことができました。
- もっとメリハリをつけた、力点を置いた板書計画を工夫して、さらに「分かる・できる授業」に取り組んでいきたいと思えます。

